

10年後の目指すべき姿

次世代エネルギーシステムが普及するとともに、効率が良く安定したエネルギー供給を支える自立分散型のエネルギーネットワークの整備が効果的に展開されています。さらに、家庭や企業などの省エネルギー・創エネルギー・蓄エネルギーが進むとともに、ごみ焼却エネルギーの効果的な活用などにより、循環型社会が実現しています。

<主な取組>

① 次世代エネルギーシステムの普及促進

●エネルギー政策に関わる構想などを策定します。

- ・エネルギー政策に関わる将来的な構想と中長期的な基本計画を策定します。

●先進的なシステムなどの普及を促進します。

- ・省エネルギー・再生可能エネルギー機器導入支援の強化などを推進します。

●広域的な再生可能エネルギーの普及を促進します。

- ・札幌市近郊における再生可能エネルギー導入の支援や広域的な活用の方向性の検討を進めます。



② 自立分散型エネルギーネットワークの展開

●自立分散型エネルギーネットワークの構築を促進します。

- ・エリア単位でのエネルギー供給拠点の整備と、これらと建物などを結ぶネットワークの構築を促進します。
- ・熱需要者であるビルのネットワークへの接続や、建築物の低炭素化などを促進する仕組みを構築します。

③ 市民・企業による環境負荷低減の取組の推進

●環境に優しいライフスタイルへの転換などを促進します。

- ・市有施設へ太陽光発電やLED照明などを積極的に導入します。
- ・学校や青少年科学館、円山動物園における環境教育を推進します。
- ・エネルギーの見える化や省エネルギー普及促進事業を推進します。



④ 循環型社会の構築

●廃棄物の減量などを推進します。

- ・生ごみの堆肥化を促進するとともに、ごみ減量行動のメリットの見える化などを推進します。
- ・ごみ焼却灰の資源化や使用済み小型家電に含まれる有用金属の資源化などを推進します。

●高効率なエネルギー回収を推進します。

- ・清掃工場で、ごみ焼却エネルギーをより効率的に回収するシステムを導入し、廃棄物発電や熱利用などを推進します。

